

(社)日本A.B.C.協会加盟
日本生活情報協会加盟
日本放送ディレクター協同組合加盟

コミュニティ・ペーパー Ciao!

いちかわ薬新聞

No.330 2009.11/20

発行所 株式会社 いちかわ薬新聞 編集所 株式会社 いちかわ薬新聞 印刷所 株式会社 いちかわ薬新聞

TEL 047-396-2211 FAX 047-397-0325
E-mail info@meiko-kikaku.co.jp

市川中央はここがオススメ!

- 高速教習はETC搭載車で東関東道と京葉道路に行ける。
- 市川、浦安でバッチリ練習ができる。
- 保育士の先生がいる託児室。
- まだまだ新しい校舎
- 何ととってもフレンドリーな教官達。

お客様駐車場完備

市川中央自動車教習所
http://www.icdsr.co.jp/ 0120-84-3759



「医者にかけずに手遅れになる人を一人でも

「原点は病弱だった幼少時の思いだった。当時この辺りには医院がほとんどなく、具合が悪くなるたびに遠くの病院まで行っていました。近くに医療機関が整っていればと何度思ったことか。」

この度の表彰は、青野さんが「多年にわたり薬事関係事業の発展向上に貢献し薬事行政の推進に顕著な功績があった」として贈られたもの。青野さんの薬剤師人生は、まさしく行徳地域の医療環境の向上と共にあった。

病弱だった少年時代の思いが活動の原動力に

行徳・南行徳・妙典で5店舗の薬局を展開する「アオノグループ」その会長である青野博さん(73)が、十月二十日に本年度の薬事功労者として厚生労働大臣から表彰された。



ビル建設で「医療圏」を創造

その後、利益より地域貢献を優先させる経営で業績は順調に推移。店舗数も増えていった。開業して二十二年目には、南行徳駅前にビルを建設。隣にアオノ薬局上階にはいくつもの医院が同居。アオノ薬局の周

「月に三、四回、自費で薬局に医師を招いて乳幼児の健診や育児相談を行いました。当社の現社長も、浦安から健診を受けに来たそうです(笑)」。赤十字覚悟で始めたことだったが、これが近隣地域でも評判になり、結果的に薬局の業績アップにつながった。

「現在の行徳は良い先生が揃っていて、内科だけでも専門分野の異なる先生が何名もいるほど医療環境が充実しています」。医師同士の関係も良好で連携が密なので、患者は気軽に連院のかけもちができるし、薬の重複も避けられるという。

「少なからず、そんな思いで最初に始めたのが私達の『無料乳幼児健診』」。



▲処方された薬について分かりやすい言葉で説明をする青野さん

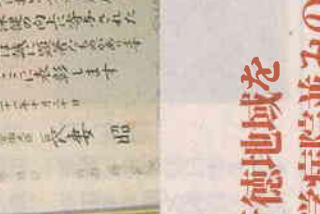
医療の究極の形は「在宅医療」

「薬事・医療は商売になつてはいけない。相手が弱体だからと語る青野さん。今もアオノグループの会長のほか薬剤師として県や国の要職こ

なす傍ら、中醫師として漢方の治療にもあたる。そんな青野さんにこれからの夢を尋ねた。「私は、人が死ぬときは、量の上が良いと思つています。でも今の日本の医療制度や家族形態ではこれがなかなか難しい。誰もが量の上で家族に看取られるためには、法整備のほか、在宅医療専門の医師の育成など、在宅医療の充実も急がねばならない。薬剤師にもっと専門性が求められる時代になると思います」。

すでにアオノグループでは、薬剤師が処方薬を患者宅まで配達する「薬の宅配」を開始。「七十二歳の夢」は確実に実現に向かっている。

辺にもさまざまなクリニックを招いて、大学病院並みの一大医療圏を創り上げた。



「行徳地域を大学病院並みの医療圏に…」功績に厚労大臣表彰

profile
南行徳在住 東京薬科大学卒業後、堀野義製薬(株)勤務を経て昭和40年に薬局開業。平成17年より(株)アオノ代表取締役会長。平成16年に全国医薬品小売商業組合連合会会長に就任。薬剤師のほか鍼灸師・中醫師の免許も持つ。

すにアオノグループでは、薬剤師が処方薬を患者宅まで配達する「薬の宅配」を開始。「七十二歳の夢」は確実に実現に向かっている。

「私は、人が死ぬときは、量の上が良いと思つています。でも今の日本の医療制度や家族形態ではこれがなかなか難しい。誰もが量の上で家族に看取られるためには、法整備のほか、在宅医療専門の医師の育成など、在宅医療の充実も急がねばならない。薬剤師にもっと専門性が求められる時代になると思います」。

「現在の行徳は良い先生が揃っていて、内科だけでも専門分野の異なる先生が何名もいるほど医療環境が充実しています」。

「少なからず、そんな思いで最初に始めたのが私達の『無料乳幼児健診』」。

「原点は病弱だった幼少時の思いだった。当時この辺りには医院がほとんどなく、具合が悪くなるたびに遠くの病院まで行っていました。近くに医療機関が整っていればと何度思ったことか。」

この度の表彰は、青野さんが「多年にわたり薬事関係事業の発展向上に貢献し薬事行政の推進に顕著な功績があった」として贈られたもの。青野さんの薬剤師人生は、まさしく行徳地域の医療環境の向上と共にあった。

もみじ観覧会
紅葉が美しいこの時だけに公開される「もみじ山」が、見ごろを迎えている。市内でも人気りが堪能できる人気スポット。出かけてみて



秋の「栗茶と遊ぶ会」
貴重な福岡県八女産摘みの新茶と創作和菓子が楽しめるほか、急須つかってお茶をいれる験もできる。「初めて人にも分かりやすく説明します。気軽にいらしゃってください」と準備。

▽11月29日(日)
▽1回目PM1:30
2回目PM3:00
▽じゅんさい池緑地茶室「登龍庵」
▽アクセス JR市川北口よりバス「松戸行き」乗車「国立病院下車徒歩5分」または「分操車場行き」乗車「じゅんさい池」下車
▽2000円(要予約)
▽問い合わせ
☎372・1332
茶と遊ぶ会

「行徳地域を大学病院並みの医療圏に…」功績に厚労大臣表彰

市川中央はここがオススメ!

